

大学の世界展開力強化事業（平成28年度採択）中間評価結果

大 学 名	立命館大学
整理番号	A-①-8
事 業 名	東アジア人文学リーダー養成のための、日中韓共同運営移動キャンパス

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">S</div>	優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。
(コメント)	<p>本プログラムは、日中韓の3大学の共同運営の下、言語・文化・文学・歴史など人文学を深く理解し、文化的な国際交流や教育研究の分野で活躍する東アジア人材育成のための明確なビジョンを策定し、実施している。</p> <p>そのビジョンに基づき設計された交流プログラムは、2年生及び3年生がそれぞれ自国以外の2か国の大学に計4セメスターの期間留学し、最終的に共同の修了証を受けるという、他に例を見ない優れたものであると言える。2言語同時習得に関しても、学生がそれぞれの言語の外部試験で高いレベルをクリアしている点は非常に高く評価できる。本プログラムそのものを対象とする外部資金による研究も同時進行で実施されているので、事業に対する検証・評価が行われるとともに、日本における先駆的な複数言語教育並びに3か国共同の人材育成プログラムとして、その研究成果も期待される。また、派遣学生は、多言語学習であることから日本語での専門的な学習時間が減少することにより専門領域に関する知識が不足することが懸念されたが、国内でのサマースクールで集中講義をほぼ全員が履修することで補われており、この点についても質保証の観点から高く評価できる。</p> <p>学生にとっては負荷の高いプログラムではあるが、十分なサポート体制が維持され、優れた東アジア人材育成のモデルとなることを期待したい。</p> <p>一方で、各相手国の言語習得のほか、英語力の習得についても引き続き向上に努めるとともに、プログラム修了生の進路やその後の活躍についても把握し、今後のプログラム運営に活かしていくことが求められる。</p> <p>最後に、今後も補助期間終了後の継続的な実施を見据えた事業計画の策定と安定的な財源確保に努め、学内及び関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と将来の我が国の更なる発展に向け、積極的に事業を展開していくことが期待される。</p>